

定期健康診断ほか 年度別推移

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
定期健診受診率		100.0%	100.0%	100.0%	98.1%
受診者平均年齢		44.4 歳	45.0 歳	44.8 歳	45.5 歳
健診結果	異常なし	35.1%	25.4%	30.5%	23.2%
	要経過観察	52.7%	52.9%	48.3%	47.7%
	再検査指示	22.9%	19.6%	17.2%	17.4%
	再検査受診率	-	12.5%	80.0%	76.9%
有所見者	B M I	36.6%	36.2%	35.1%	34.8%
	腹囲	21.4%	24.6%	22.5%	26.5%
	血圧	16.0%	18.8%	15.9%	14.8%
	貧血	13.0%	18.1%	17.2%	19.4%
	肝機能	29.0%	19.6%	25.2%	30.3%
	血中脂質	57.3%	42.8%	49.7%	58.1%
	血糖	9.2%	7.2%	6.6%	5.8%
生活習慣	喫煙している	26.7%	26.1%	25.2%	23.9%
	睡眠で休養がとれてない	51.9%	56.5%	39.1%	33.5%
	運動できてない	19.1%	23.2%	21.9%	21.9%
保健指導実施率		88.8%	100.0%	76.9%	92.3%
ストレスチェック受検率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

B M I が標準値をオーバーしている従事者が 3 割以上、業界全体でも同じ傾向がみられる。また血液検査の血中脂質の基準外は 5 割以上、心臓への負担が懸念される。

依然として喫煙率が変わらない傾向にある。業界全体においても喫煙率は約 3 割程度ある。社内はもとより業界全体としてもしっかり対策していかなければならない問題である。

この 2 年ほど、睡眠で休養がとれている方が増える傾向がみられる。睡眠の質を向上させる当社商品の発売も寄与しているのではないかとされる。

平均年齢が少しずつ上昇する中でも再検査指示率は下がってきている。健康経営を推進する中で、年に 2 度の健康診断実施(35歳以上)やその後の受診勧奨などにより、早期治療や健康意識の向上を促している成果が出てきている。